

科目名	国語Ⅲ JapaneseⅢ			担当教員	長谷川 隆			
学年	3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2	
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	17120024	単位区分	履修単位	
学習目標	1. 現代文や古文の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。							
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。意見を書いたり発表したりしてもらうこともある。原則として、年間20回漢字小テストを実施する。また、適宜、読書時間も設ける。							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標				
	※全体ガイダンス(1) 1. 現代文 評論・詩(13) (1) グローバル化のゆくえ(山崎正和)(7) (2) 永訣の朝(宮澤賢治)(6) ----- [前期中間試験](2)			・論理的文章を読み、論理構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。(グローバル化のゆくえ) ・詩の表現をもとに、描かれている情景や作者の心情を理解し、人間についての考えを深め、広げることができる。また、宮澤賢治の日本文学史における位置を理解することができる。(永訣の朝) (A-1)				
	※試験返却と解説(1) 2. コミュニケーション(13) (1) 国語表現の実践(13) ア. 事実を客観的に(2) イ. 推敲(3) ウ. 段落(2) エ. 論旨(2) オ. 議論文(2) カ. 手紙文(2) 前期末試験			・正しい日本語で表現するための基礎的事項を習得できる。 ・論理構成や表現方法を工夫して、自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。 (D-1)				
	試験返却と解説(1)							
	3. 現代文 小説(14) (1) ころ(夏目漱石)(14) ----- [後期中間試験](2)			・人物・情景・心情の描写並びに描写意図などを理解して味わい、人間についての考えを深め、広げることができる。 (A-1)				
	※試験返却と解説(1) 4. 古文 平家物語(13) (1) 平家物語概説(2) (2) 先帝入水(5) (3) 能登殿最期(6) 後期末試験			・基本的な古語を理解し、語り物である平家物語のリズムを味わい、内容を理解することができる。 ・平家物語の日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。 (A-1)				
	試験返却と解説(1)							
	評価方法	1. 評価の内訳：漢字小テストの成績を10%、提出物を15%、定期試験を75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価への重みは、1～4のそれぞれについて、各25%とする。						
	履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ(1年)→国語Ⅱ(2年)→国語Ⅲ(3年)→文学特論Ⅰ(4年) →文学作品購読(専攻科2年)							
教材	教科書：精選現代文B 東京書籍 三角洋一他編 ISBN 978-4-487-18707-2 問題集：精選現代文B 課題ノート 東京書籍 東京書籍編集部 ISBN 978-4-487-36087-1 教科書：新編古典B 教育出版 影山輝國他編 ISBN 978-4-316-20249-5 漢字：級別漢字学習4級～2級 東京法令出版 赤羽靖他 ISBN 978-4-8090-7508-7 表現：基礎からの国語表現の実践 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 ISBN 978-4-7637-4103-5 図説：新総合図説国語(新訂版) 東京書籍 池内輝雄他 ISBN 978-4-487-36125-0 辞書：電子辞書等(国語辞典 古語辞典 漢和辞典)							
備考	単位追認試験、再試験は適切な時期に実施する。							